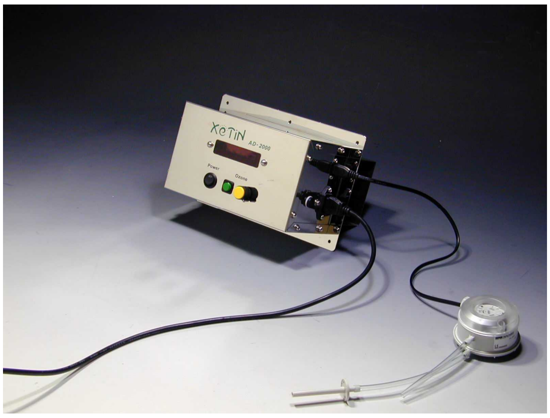
ＨＵＢＡ社製気圧スイッチ設置および使用説明書



ＨＵＢＡ社製気圧スイッチ（以下ＨＵＢＡ）はＡＤ－２０００を空調システムの稼動状況で自動運転するための装置です。下記の図で示された通り、ＨＵＢＡは空調システムの風下でＡＤ－２０００の風上に設置します。ＨＵＢＡを設置できるくらいのスペースを空けてＡＤ－２０００を取り付けてください。空調システム全体の電源が切られるまではＡＤ－２０００に電力をつながないでください。

設置方法



１．ＨＵＢＡの半透明なプラスチック製カバーを取り外します。
２．他の付属品と一緒に梱包されている接続コードの両端を２５mm程裂き、ネジ穴を通して端子１と端子３にネジで留めます。ＨＵＢＡのプラスチックのカバーを元通りに取り付けます。
３．これでＨＵＢＡをダクトに取り付ける準備が整いました。上記の図に示されたとおり、ＨＵＢＡはＡＤ－２０００の風上に設置します。どのようなダクトでも、噴出し口近くの中央にＡＤ－２０００とＨＵＢＡを設置するのが良いでしょう。すでに設置されているＡＤ－２０００に届くだけの電気コードがあることを確認して、ＨＵＢＡをダクトにネジで留めます。
４．ＨＵＢＡの風上に直径７mm程の小さな穴を電気ドリルで開け、付属のフリンジ付き管の長い方を差し入れ、ダクトの上にそのフリンジをネジで留めます。
５．ホースにしわを入れることなくできる限り短く切り、これでＨＵＢＡと先ほどのフリンジ付き管を接続します。ＨＵＢＡの空気取り入れ口の安全キャップを両方とも外します。ホースは空気取り入れ口の＋側に接続します。これはＨＵＢＡ本体下部の空気取り入れ口です。
６．ＨＵＢＡから出ている電気コードをＡＤ－２０００側に接続します。ＡＤ－２０００は標準出力１００Ｖに接続してください。
７．これでユニットのテスト準備が完了しました。最初に空調システムの電源を入れます。空調システムが空気を送っていない間はユニットに電源を入れないで下さい。次にＡＤ－２０００に電力を入れます。ＡＤ－２０００はこの状態で作動します。ＡＤ－２０００は取扱説明書で指示された通りに調節して下さい。操作方法を完全に理解するよう説明書をきちんと読んで下さい。
８．空調システムの電源を切ってください。ＡＤ－２０００も作動停止するかどうか確認します。もし、まだ作動を続けているなら、ＨＵＢＡをもう少し高く設定しなおします。プラスチックカバーを外し、ＡＤ－２０００が作動を停止するまでＨＵＢＡを高いセッティングにします。

トラブルの対処方法

ＨＵＢＡがＡＤ－２０００を作動させない場合、各手順が正しく行われたかどうか、取扱説明書を再度、精読し直して確認してください。

空調システムが稼動しているにもかかわらずＡＤ－２０００が作動しない場合は、ＨＵＢＡのダイアルセッティングを低く設定し直してください。
反対に空調システムが停止してもＡＤ－２０００が停止しない場合、停止するまでＨＵＢＡスイッチのセッティングを高く設定し直してください。

空調システム稼動中にＡＤ－２０００が作動せず、空調システム停止中にＡＤ－２０００が作動しているように、作動が逆の場合は、接続コードがＨＵＢＡの端子に正しく接続されていません。接続コードの接続箇所を確認してください。

空調ダクト内部に差し込まれたフランジからホースを外し、それを吹いてみて下さい。これでＨＵＢＡが作動するはずです。それでも作動しない場合は、ホースを吸ってみて下さい。ホースを吸った時にＡＤ－２０００が作動する場合、ＨＵＢＡの間違った空気取り入れ口に接続されている可能性があります。もう一方の空気取り入れ口に接続してみて下さい。

まだＨＵＢＡが作動しないようでしたら、弊社にお問い合わせ下さい。トラブルの対処方法のお手伝いをいたします。

ＡＤ－２０００は、ＨＵＢＡが接続され、気流で電源が入る場合か、付属のブースタージャックがＡＤ－２０００の小さなジャックに差し込まれている場合のいずれかでしか作動しないことに留意していて下さい。

ユニットの詳細

定格電圧：ＡＣ100Ｖ
周波数：50／60Ｈｚ
プロテクションヒューズ：2Ａ
定格電流：0.26A
消費電力：26W
稼動気圧：0.2～50hPa
寸法：103mm（横）Ｘ88mm（縦）Ｘ90mm（高さ）
重量：120g